Breeze
YFA News

発行　一般社団法人横浜サッカー協会
編集　同　広報委員会
〒220-0012 横浜市西区
みなとみらい6-2-1
TEL(045)662-4315　FAX663-5800
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷　神奈川新聞社
〒231-8445　横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0736　FAX227-0785

▶スコアボード◀

9月9日（火）19：30　キックオフ予定
横浜国際
キリンチャレンジ２０１４
日本　ＶＳ　ベネズエラ
12月13日（土）
第94回天皇杯全日本サッカー選手権　決勝
日産スタジアム

新体制がスタート

26年度定時総会が6月20日、かながわ県民センターで行われた。同総会では、一般社団法人となって、初めての役員（理事・監事）改選が行われた。役員改選は候補者の中から理事16名を選任し、選任された16名の理事の中から総会後の理事会で会長、副会長、専務理事を決めた。新会長に氏平祐輔氏（前副会長）、副会長に内田渉氏（前理事）、専務理事に鈴木栄一氏（前理事）が就任、新体制による協会運営がスタートした。**（役員・理事は別掲）**

また、同総会において、平成25年度事業報告、同決算、同公益目的支出計画実施報告書、同監査報告が審議され、原案どおり了承された。

会長就任にあたって

氏平　祐輔

この6月に会長を拝命し今、その責務の重さを感じているところです。横浜サッカー協会が設立されてから80余年となりますが、それは我が国サッカーとともに歩み続けてきた歴史でもあるという誇り得るものと自負しております。

現在、日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場などを使用する国際試合、Ｊリーグなどの運営支援、社会人、少年、シニア、女子サッカー大会の運営・管理、しんよこフットボールパークの管理・運営、そしてサッカー全般の普及と振興のための事業を柱として活動してきています。

一方、横浜のサッカー界を取り巻く環境は、日本サッカーの動向にともなって日々変わってきております。横浜におけるサッカーの歴史に基盤を置きながらも（一社）横浜サッカー協会に関わる人々も組織も絶えず進化し、横浜のサッカー文化の進展に寄与しなければなりません。

こうした観点から今後の方向性をとらえていけば、協会の広報活動の拡張を図ることや各区サッカー協会との交流の活性化、また県内他郡市協会との交流の活性化。そして老朽化した三ツ沢球技場・陸上競技場の改築などが考えられます。

こうした方向性とともに直面している課題としては、平成28年4月に閉鎖が予定されている「みなとみらいスポーツパーク」の代替えとなるサッカー場の調査および協会事務所の移転。また、試合や行事予定の発信のためのホームページの拡充。さらには若いサッカー人の正会員への勧誘。そして横浜市民病院の移設に伴う三ツ沢球技場・陸上競技場の利用方法などがあげられます。

こうした方向性、課題を見据えて、これらに関わる事業を円滑に運営する方策を模索しながら（一社）横浜サッカー協会の一層の発展のため務める所存です。

皆様のご支援をお願いいたします。

横浜のサッカー文化の進展へ

26、27年度 役員・理事

会長	氏平 祐輔	
副会長	内田 渉	
専務理事	鈴木 栄一	
理事	加藤 範義	
理事	秋山 早苗	
理事	植木 裕司	
理事	神林飛雄史	
理事	小山 次郎	
理事	石井 和則	
理事	廣幡 素道	
理事	岩澤 明彦	
理事	白倉 常夫	
理事	野口 隆	
理事	森 勝弘	
理事	菅野 勝夫	
理事	忍足 充	
監事	守久 友三	
監事	鈴木 康司	
顧問	齊藤 禮二	
顧問	山本 紘一	

高野一彦元会長が逝去

高野一彦元会長が8月31日、ご逝去された。91才。横浜市出身。二〇〇〇年から二〇〇三年までの二期四年、会長を勤めた。

友好深める交流試合

横浜ー仁川広域市

日韓ジュニアサッカー大会

横浜市・仁川広域市国際交流事業２０１４日韓ジュニアサッカー大会が8月12日、13日の2日間にわたり開催された。

これは、２００２ＦＩＦＡワールドカップ記念事業として、毎年横浜市、仁川広域市で交互に開催されているもので今年は横浜市のニッパツ三ツ沢球技場で開催された。

出場チームは仁川広域市代表チームと横浜市代表Ａチーム・横浜市代表Ｂチームで、小学生とは思えないテクニカルでスピード感溢れる対戦の末に、優勝は横浜市代表Ａチーム、準優勝は仁川広域市代表チーム、3位は横浜市代表Ｂチームとなった。

期間中は対戦の他に、歓迎レセプション、八景島シーパラダイス観光、横浜Ｆマリノスの練習見学なども行い、お互いの交流を深めた。

フトゥーロがベスト8に

全日本少年サッカー大会

第38回全日本少年サッカー大会神奈川県予選大会が5月10日から開催され、6月22日決勝戦は実力伯仲の横浜のチーム同士の激突となったが、勢いに勝ったＪＦＣフトゥーロが2対1であざみ野ＦＣを下して初優勝を遂げ、全国の切符を手にした。

全国大会では、一次、二次ラウンドを勝ち進み決勝トーナメントでは準々決勝で柏レイソル（千葉県）に0ー3に敗れ、ベスト8にとどまった。

フェアプレー賞を受賞した。

ハーフタイム

先日、実家に中学校時代の同級生という人からの電話があった。不用心にも母が私の連絡先を教えてしまった。本人からすぐに私に連絡が来た。同級生と言っても同じクラスではなく、友達の友達と言うくらい⚽卒業アルバムを見て顔と名前は結びついた。会いたいね、と言われ、そうですね、とは言ったものの、特に仲良かったわけでもないので、会って何を話すんだろうくらいに思っていたが、それから週に1回くらいの割合で、会えませんか?と連絡が来るようになった⚽最初はそんなに懐かしく思ってくれるんだと思っていたが、あまりの頻繁さに、だんだん何かあるのかなぁ?何かの勧誘なのかなぁ?と思うようになってしまった。何十年も会っていない同級生なのだから仕方ないかとも思うが、同級生に不信感を持ったことに対して少々落ち込んでしまった。でも、周りの友人に聞いても皆同じようなとらえ方をしていた。私だけではなくてある意味、ほっとしている自分に気づいた。何時からだろう⚽子供のころは知らない人について行っちゃいけない、とは言われていたけど、知り合いにも気をつけなきゃいけない世の中になったのかな。だますつもりはないだろうが一度会ってみた方が良いのかなぁ。だますよりはだまされた方がいいと友人に言われちょっと肩の荷がおりた。（河）

優勝
LSCH LL バディーSL SCH
第41回横浜市春季少年サッカー大会

第41回横浜春季少年サッカー大会は、L、LLの部は4月13日から、また、SLの部は5月10日から始まり、7月6日に全てのカテゴリーの決勝戦で約3か月にわたる熱戦の幕を閉じた。

予選リーグ、決勝トーナメントを戦い、SCH. FCがLの部、SLの部の2クラスで共にバディーSCを下し優勝の栄冠を手にした。また、LLの部はバディーSCが横浜F・マリノスPrを下し優勝した。

◎SLの部

☆三位決定戦
六浦毎日SS　2—1　FCカルパ

☆決勝戦
SCH. FC　2—1　バディーSC

◎LLの部

☆三位決定戦
SCH. FC　2—0　あざみ野FC

☆決勝戦
バディーSC　2—0　横浜FマリノスPr

◎Lの部

☆三位決定戦
大豆戸FC（5PK4）　0—0（0延0・3PK1）　NPO. H.P.SC

☆決勝戦
SCH. FC　3—3　バディーSC

なお、LLの部では5位6位決定戦を行い、ベスト4チームの他に富岡SCと元石川SCが県U10チャンピオンシップに出場することとなった。

～シニアチームが訪韓～
交流戦リベンジならず

第28回シニア訪韓交流大会に横浜からの遠征メンバー14名は8月26日、羽田から金浦へと飛び、ソウルの明洞地区にあるホテルに入った。翌、27日には車で30分、ソウル特別市城北区にある月谷人造芝サッカー場で地元シニアチーム(城北FC)と2試合を行った。結果は0対2、1対2と連敗でした。実は、昨年度の交流戦と同じ場所・同じ相手でもあり、今回はリベンジとばかり奮戦したが残念ながら、返り討ちにあってしまった。(久)

【参加選手の手記・中島弘雅】

朝9：00　サボイホテルをマイクロバスにて出発。昨年同様、対戦チームは城北さん。グラウンドも昨年同様の人工芝。9：30に到着。城東サッカークラブの会長さんや城北クラブの方々にお出迎えいただき、親善試合前に恒例の挨拶・紹介・写真撮影。10：00キックオフ　20分×4本

天気は昨日までの雨が一転、素晴らしい天候に！湿気は少ないのですが、人工芝でスパイクが熱く、足がやけどするくらいの感覚でした。

第1試合は、横浜チームも元気よく、パス回しの楽しいサッカーを展開。ボール支配もほとんど横浜！しかし0—1で終了。休憩後、神奈川の功さんが得意の足を生かしての素晴らしいゴールで得点。結果は1—2。ゲームとしては横浜ペースで、昨年よりはサッカーを楽しめチームもまとまった素晴らしい内容でした。

第2試合に入る前に参加者13名というハンディから疲労度が全体に！第2試合から城北クラブの韓国サッカー協会理事でワールドカップのテレビ解説もされている方が、助っ人としてセンターバックに入ってくださいました。日本語も流暢にあつかわれていました。何とか試合にはなっていましたが、集中力と体力の限界！0—2の惜敗でした。しかし、けがもなく楽しい素晴らしいゲームができたことは、感謝、感謝！です。課題は、来年にむけて訪韓メンバー20名くらいで構成できるように準備することです。

試合後は、恒例のお風呂に行き、懇親会は昨年と同様、魚料理屋さんで行われました。言葉の壁を乗り越え、楽しく盛大な時間を過ごすことが出来ました。みなさん、是非!!来年の参加を。訪韓メンバー　一同より。

猛暑の中、熱い闘い！
金沢・海の公園　ビーチサッカー大会

ビーチサッカー大会が8月2日、3日の二日間にわたり、金沢区の海の公園で行われた。このビーチサッカー大会は平成20年の開港150周年記念行事の一環で始まった「ビーチスポーツフェア」の一つであり、ビーチハンド(ハンドボール)、ビーチテニス、ビーチバレーが行われている。今年が6回目となる。2日の大会開始前には、参加選手全員によるゴミ拾いでビーチクリーン活動を行った。

大会には、一般男子15チーム、一般女子6チーム、小学男子16チーム、小学女子4チームが参加。真夏の太陽のもと慣れない砂浜のピッチに足を取られながらもパスやドリブルでゴールをめざし猛暑の中、〝暑い、熱い〟闘いが繰り広げられていた。

半世紀をこえる交流戦
第53回日朝親善サッカー大会

日朝両国民の友好を深めるために始まった親善サッカーが半世紀以上の歴史を刻んできている。8月24日、第53回横浜市長杯争奪・日朝親善サッカー横浜大会が三ツ沢陸上競技場において行われた。今回は、シニア、少年の部が日程の都合で行われなかったが、中学、高等学校と社会人選抜とFCコリアの3試合が行われた。

同日朝親善サッカー大会は53回という長く継続される意義の大きさとスポーツだけがなしうる素晴らしい大会といえる。

試合結果は次の通り。

慶應義塾高等学校5対1神奈川朝鮮高級学校

横浜市中学校選抜2対0関東朝鮮中級学校選抜

市長杯争奪戦

横浜市社会人選抜4対4FCコリア

元気いっぱい
キッズゲーム

梅雨の合間の晴天に恵まれた6月22日にMMスポーツパークで、今期最初のスーパーキッズゲームが開催された。35団体、48チーム、545名のキッズたちが元気いっぱいにピッチを駆け回り、応援の保護者から熱い声援が送られていた。次回Goal20は、9月13日(土)にしんよこFPで開催される。

法人会員一覧

横浜マリノス㈱
神奈川新聞社

㈱横浜シミズ
横浜食品開発㈱
JFE東日本ジーエス㈱
㈲マルイシ工芸
㈱横浜アーチスト